



2013年9月12日

おきぎん県内景況・確報 2013年7月期

**-県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる-
2013年5月上方修正後、判断維持**

○個人消費関連

スーパー売上額・百貨店…スーパー売上高は「全店ベース」、「既存店ベース」ともに前年同月を上回る。
百貨店売上高も前年同月を上回る。
家電卸出荷額…太陽光パネル需要などにより前年同月を上回る。
新車販売台数…エコカー補助金制度終了の影響などにより前年同月を下回る。

○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。
住宅投資・建設資材…着工戸数、生コン、セメントすべてにおいて前年同月を上回る。

○観光関連

入域観光客数…10ヵ月連続で前年同月を上回る。
ホテル稼働率…シティホテル、リゾート、ビジネスすべてにおいて前年同月を上回る。
観光施設入場者数…9ヵ月連続で前年同月を上回る。

○倒産・雇用

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。
有効求人倍率…前月より上昇。

○生産関連

鉱工業生産(6月)…前月より下落。
大口電力使用量…前年同月を上回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月を上回り、ガソリン(レギュラー、軽油)価格も上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所
TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・確報(2013年7月分)

◎2013年7月 おきぎん「カトリア」景況図



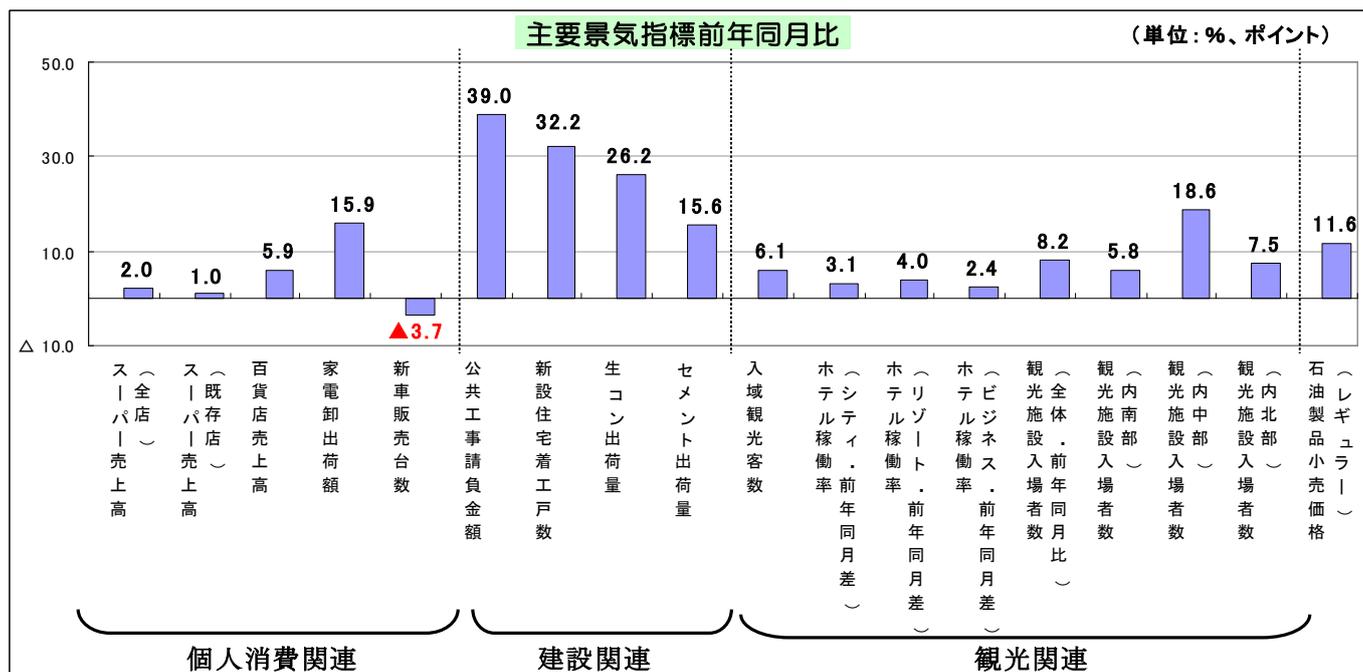
◎概況: 県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる。

7月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品や身の回り品などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネル需要などにより前年同月を上回り、新車販売台数はエコカー補助金制度終了の影響などにより前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は国や市町村発注による工事増加等から前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コン、セメントもともに上回りました。

観光関連では、入域観光客数は10ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みると、「県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる」と景気判断を据え置きました。(2013年5月に上方修正)



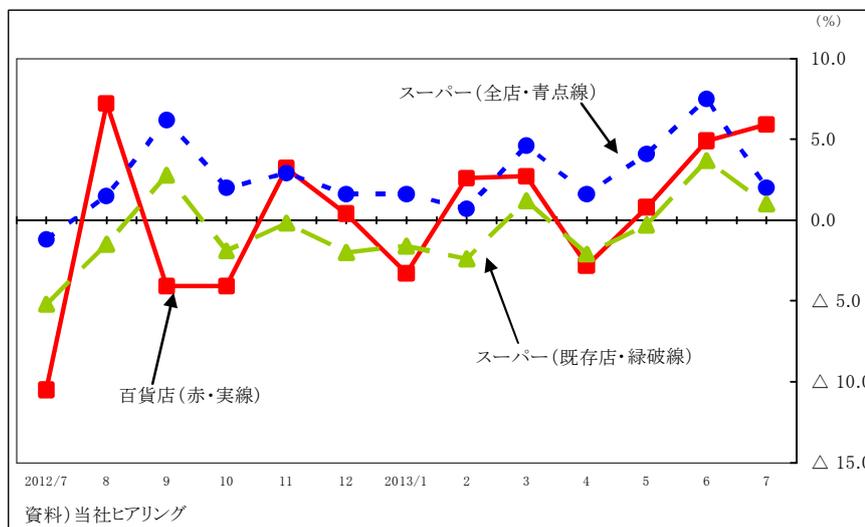


■個人消費：(やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高も前年同月を上回る。

	単位:%		
	スーパー売上額 全店	スーパー売上額 既存店	百貨店 売上額
2012/7	△ 1.2	△ 5.2	△ 10.5
8	1.5	△ 1.5	7.2
9	6.2	2.8	△ 4.1
10	2.0	△ 1.9	△ 4.1
11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3
2	0.7	△ 2.4	2.6
3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9

注)前年同月比



7月の個人消費関連では、スーパー売上高は、「全店ベース(前年同月 2.0%増)」が12ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果に加え、旧盆の時期が昨年(8/30-9/1)に比べ、今年(8/19-8/21)は早かったことから一部のお中元ギフト商品需要が7月に前倒しとなり、ウェイトの高い「食料品(同 3.9%増)」が前年同月を上回りました。

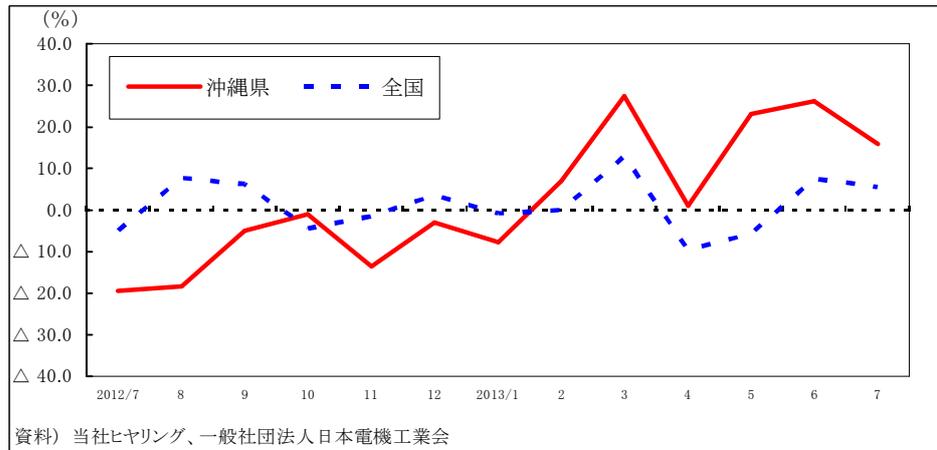
「既存店ベース(同 1.0%増)」では2ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 1.7%増)」は、晴天日が続き来店客数が増加したほか、旧盆の時期が昨年より早く、一部のお中元ギフト商品需要が7月に前倒しとなったことなどから前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同 2.9%減)」や家電を含む「家庭用品(同 0.1%減)」は、昨年より梅雨明けが早く、夏物衣料や一部商品(扇風機、冷感寝具類など)の需要が6月にシフトしたことなどから前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、食料品や身の回り品などの売れ行きが好調で、3ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 5.9%増)。内訳をみると、「食料品(同 21.6%増)」は、旧盆の時期が昨年より早く、お中元ギフト商品需要が7月に前倒しとなったことなどから、前年同月を上回りました。「身の回り品(同 8.2%増)」も販促効果などにより前年同月を上回りました。一方、ウェイトの高い「衣料品(同 4.8%減)」は、セール開催時期の変更(昨年:7月開催⇒今年:6月開催)などにより「婦人服(同 5.4%減)」や「紳士服(同 5.7%減)」、「子供服(同 6.6%減)」の売上が伸び悩み、前年同月を下回りました。「雑貨(同 0.01%減)」は、前年並みとなりました。

②家電卸出荷額…太陽光パネル需要などにより前年同月を上回る。

単位:%

	沖縄県	全国
2012/7	△ 19.5	△ 4.9
8	△ 18.3	7.7
9	△ 5.0	6.3
10	△ 1.0	△ 4.4
11	△ 13.6	△ 1.5
12	△ 3.0	3.5
2013/1	△ 7.8	△ 0.8
2	7.0	0.0
3	27.5	13.0
4	1.1	△ 9.6
5	23.2	△ 5.7
6	26.3	7.6
7	15.9	5.6



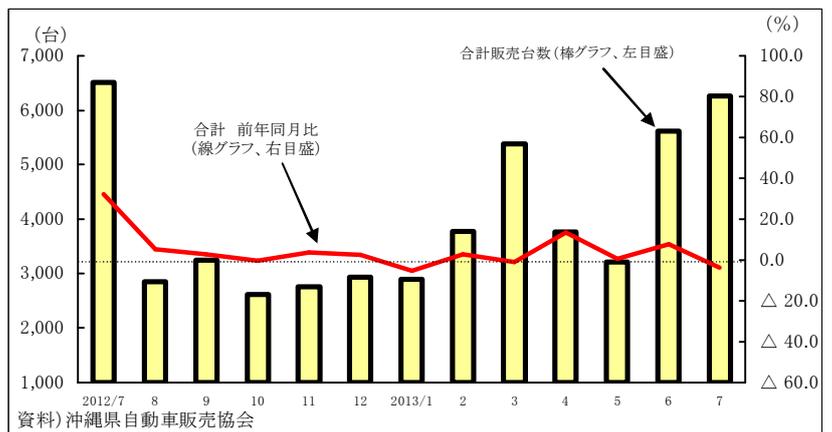
注) 前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネル需要などにより、6ヵ月連続で前年同月を上回りました(同15.9%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同71.6%増)」は、2012年7月1日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。「エアコン(同4.1%増)」は、晴天日が続いたことなどから需要が堅調に推移し、前年同月を上回りました。「冷蔵庫(同16.0%増)」や「洗濯機(同2.1%増)」も前年同月を上回りました。一方、「テレビ(同9.6%減)」や「DV Dレコーダー(同30.1%減)」は、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降続いている地デジ関連製品の需要低迷などにより前年同月を下回りました。

③新車販売台数…エコカー補助金制度終了の影響などにより前年同月を下回る。

単位:台、%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2012/7	6,511	32.1	41.3	9.7	75.7
8	2,856	5.3	12.9	△ 12.9	24.3
9	3,248	2.7	△ 12.2	△ 12.8	13.9
10	2,613	△ 0.5	△ 27.5	△ 10.6	11.0
11	2,753	3.6	△ 12.7	14.7	3.8
12	2,925	2.5	△ 5.6	2.6	4.1
2013/1	2,902	△ 5.5	△ 25.2	△ 20.7	5.8
2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7
3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

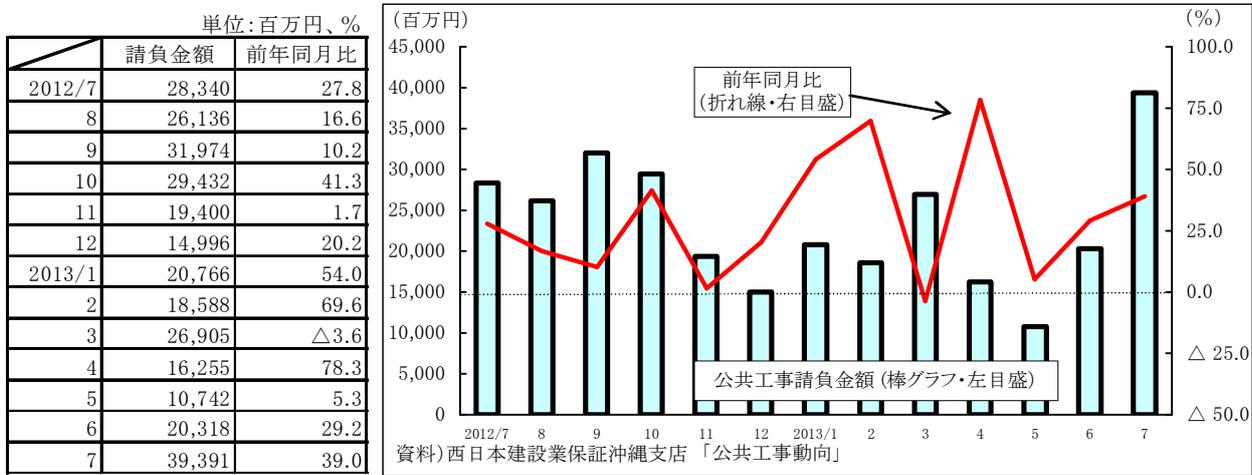
新車販売台数は、全体で6,267台となり、4ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同3.7%減)。エコカー補助金制度終了(2012年9月21日)の影響に加え、一部のレンタカー需要が今年は6月に前倒しとなったことなどから前年同月を下回りました。車種別でみると、「普通乗用車(同7.8%減)」が3ヵ月ぶり、「小型乗用車(同2.4%減)」が2ヵ月ぶりに前年同月を下回ったほか、「軽乗用車(同9.2%減)」も3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



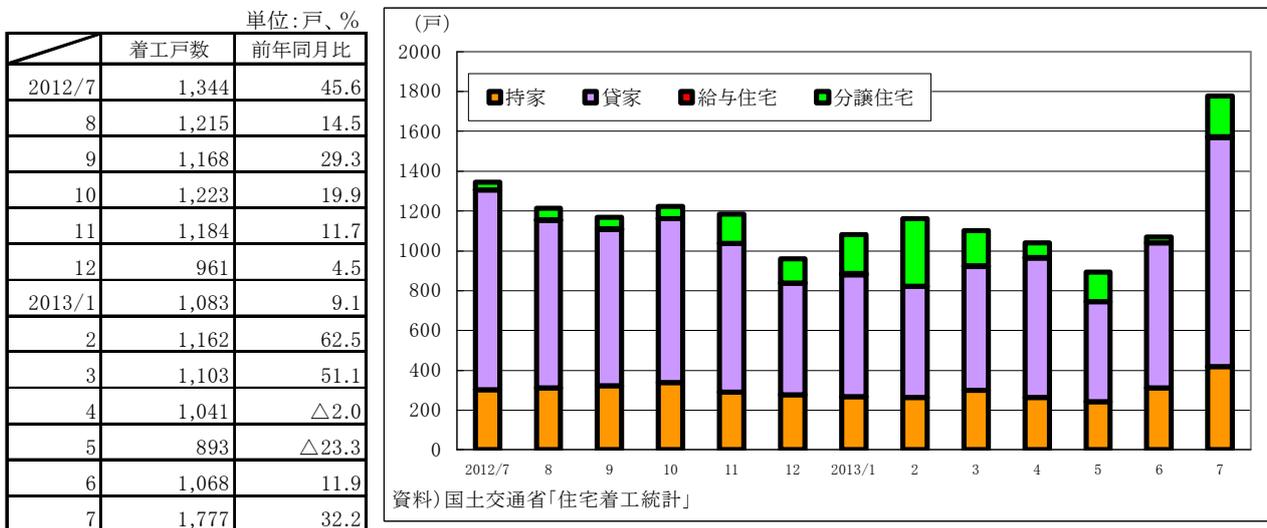
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



7月の**公共工事請負金額**は、前年同月比39.0%増の393億9,100万円となりました(4ヵ月連続増)。発注者別でみると、「独立行政法人等(同34.9%減)」や「その他の公共的団体(同13.4%減)」で前年同月を下回ったものの、「国(同108.5%増)」は牧港高架橋関連工事、「沖縄県(同42.6%増)」は東村での導水管関連工事、「市町村(同41.6%増)」は伊是名村での製糖工場機械設備工事などの大型案件工事などにより前年同月を上回りました。

②住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を上回り、生コン、セメントも上回る。

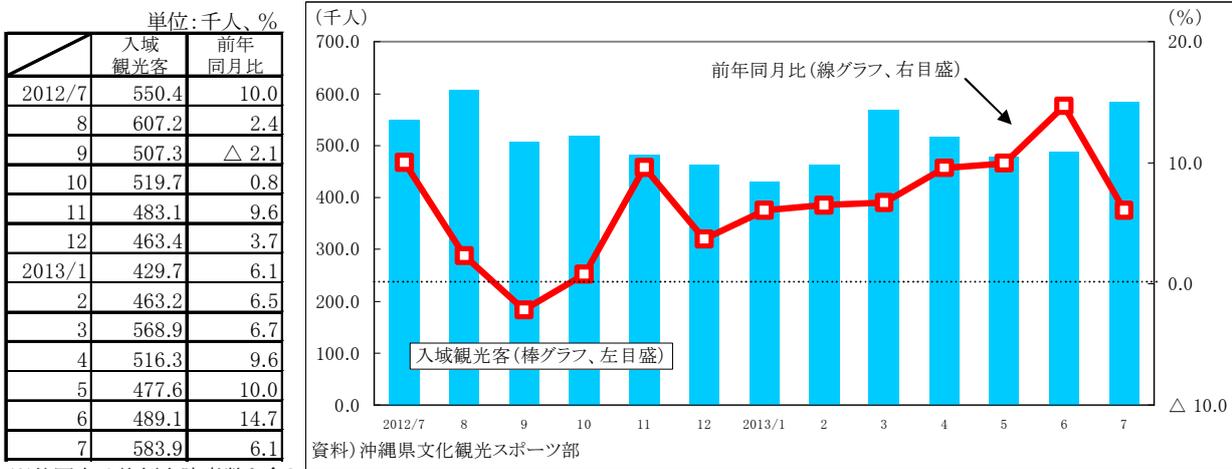


7月の**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比32.2%増の1,777戸と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同14.8%増)」や「持家(同37.7%増)」などが上回りました。**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は26.2%増加し、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より34.2%増加し、民間工事向け出荷も23.4%増加しました。**セメント**の出荷量は15.6%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。



■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数…10ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は特例上陸者数を含む

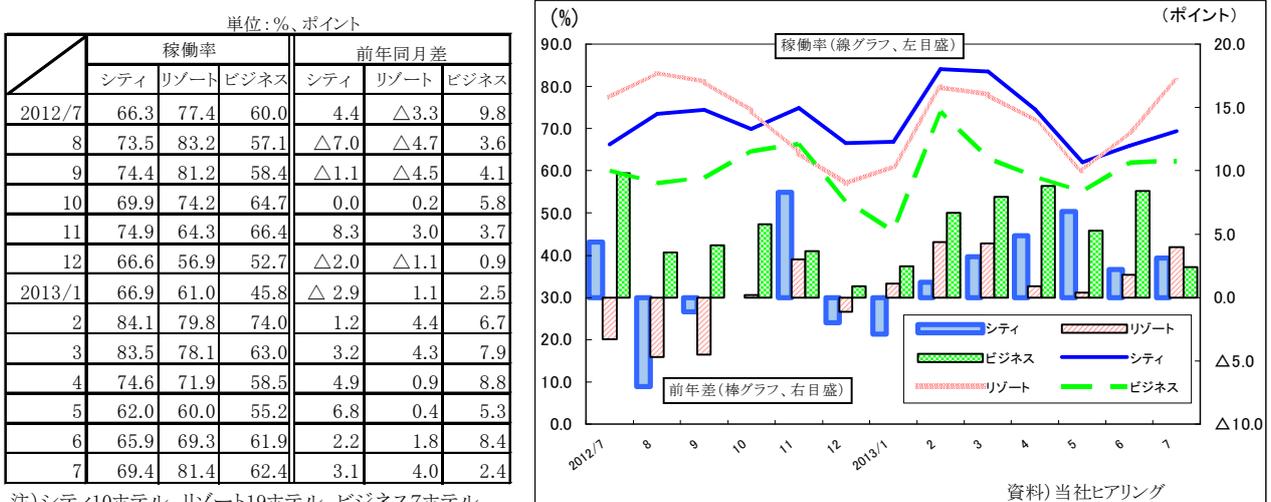
7月の入域観光客数は、前年同月より6.1%(33,500人増)多い583,900人となり、10ヵ月連続で前年同月を上回りました(7月としては過去最高)。内訳をみると、「国内客(同7.5%増)」は新石垣空港の開港効果などにより前年同月を上回りました(10ヵ月連続)。特に、「関西方面(同17.9%増)」が6月に続き前年同月を大きく上回り、他主要路線においても好調に推移しました。

他方、「外国客(同4.0%減)」は、65,200人(同2,700人減)となり、大型クルーズ船が3回寄港した前年7月の反動等の影響により6ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。特に「中国本土(同71.1%減)」は海路客を中心に大幅に減少したものの、航空路線の拡充などから「台湾(同41.4%増)」「韓国(約3.1倍)」「香港(同17.1%増)」は前年同月を上回りました。

※ 2013年4月より外国客は特例上陸者を除いた数値も同時に公表。本表ではデータの連続性を勘案し特例上陸者数を含む数値を掲載。

※ 特例上陸者を除く2013年7月実績=全体575,100人(同7.3%増)、外国客56,400人(同5.2%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…シティホテル、リゾート、ビジネスすべてにおいて前年同月を上回る。



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

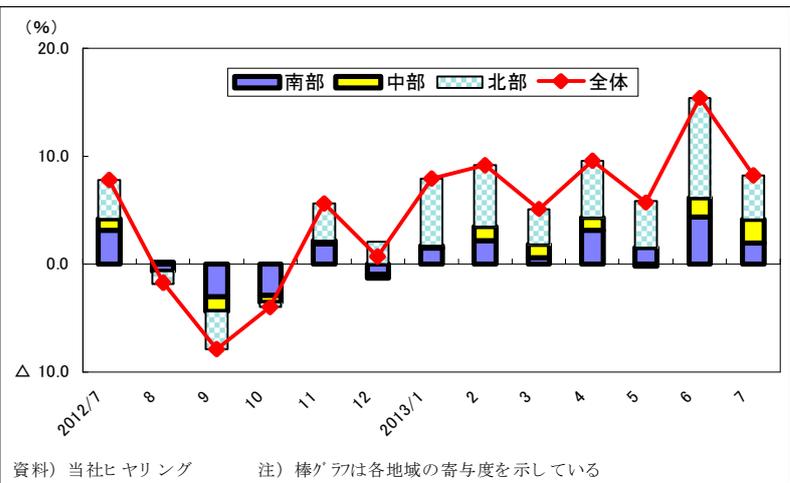
県内ホテル稼働率は、シティホテルが69.4%と3.1ポイント上昇(6ヵ月連続)、リゾートホテルが81.4%と4.0ポイント上昇(7ヵ月連続)、ビジネスホテルが62.4%と2.4ポイント上昇(17ヵ月連続)しました。

③観光施設入場者数…9カ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/7	7.8	9.5	9.1	6.6
8	△1.7	△1.8	1.0	△2.3
9	△7.9	△8.5	△11.0	△6.8
10	△4.0	△6.7	△5.1	△1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.7	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.8	18.6	7.5

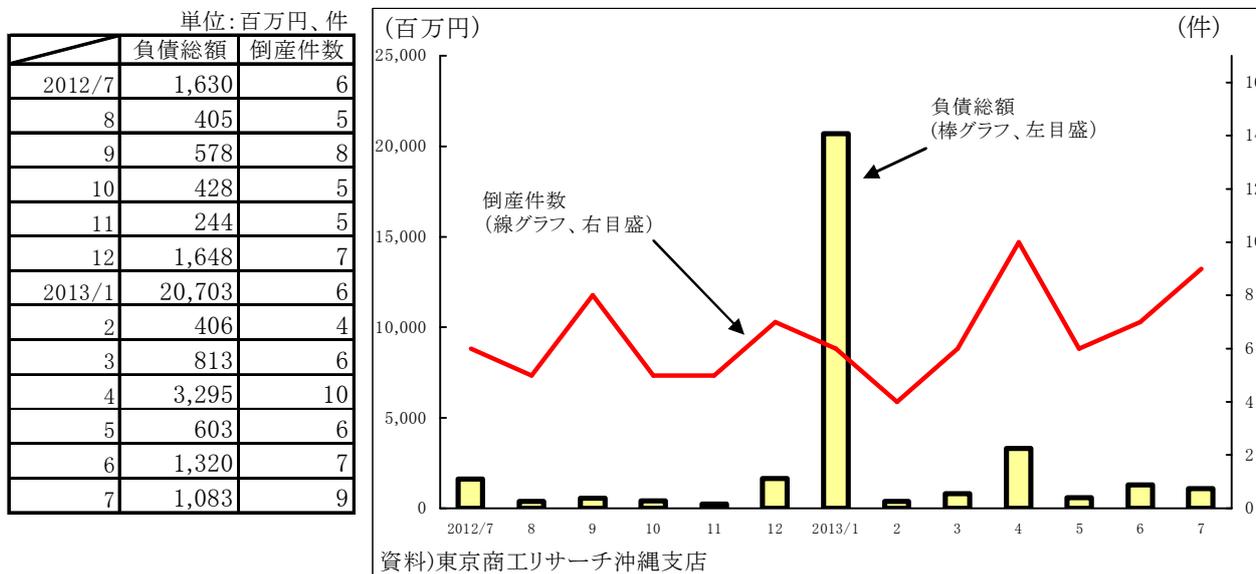
*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より8.2%増加(9カ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同5.8%増と7カ月連続、中部は同18.6%増と2カ月連続、北部は同7.5%増と9カ月連続で前年同月を上回りました。

■企業倒産:  (ふつう)

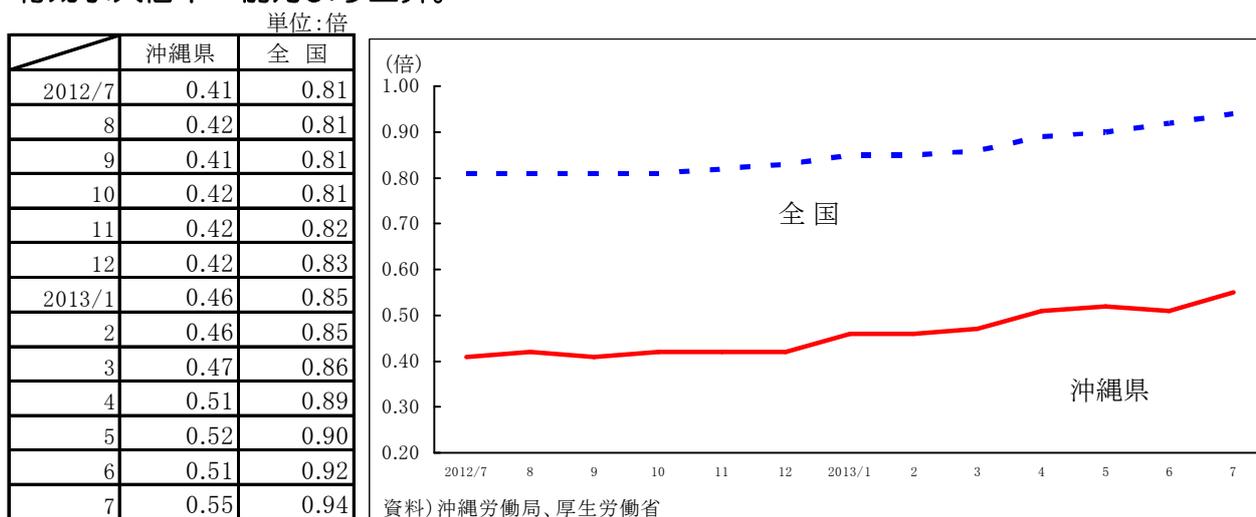
企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。



7月の企業倒産件数は、9件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産3件)発生し前年同月より3件多くなりました。負債総額は10億83百万円と前年同月より33.6%減少しました。

■雇用関連:  (ふつう)

有効求人倍率…前月より上昇。



注) 季節調整済

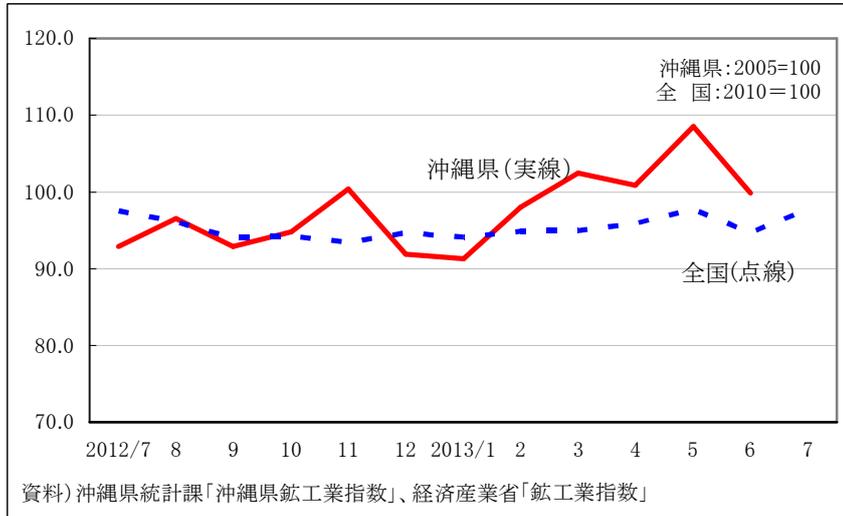
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

7月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比6.1%増の17,608人に対して、月間有効求職者数(同上)は同1.0%減の32,088人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.55倍と前月より0.04ポイント上昇しました。完全失業率(原数値)は前年同月より0.6ポイント上昇し、6.1%となりました。

■ 鉱工業・大口電力関連:  (ふつう)

① 鉱工業生産指数…前月より下落。

	沖縄県	全 国
2012/7	92.9	97.5
8	96.5	96.1
9	92.9	94.0
10	94.8	94.3
11	100.4	93.4
12	91.9	94.7
2013/1	91.3	94.1
2	98.0	94.9
3	102.5	95.0
4	100.9	95.9
5	108.5	97.7
6	99.9	94.7
7	-	P 97.7



注1) 数値は季節調整済指数

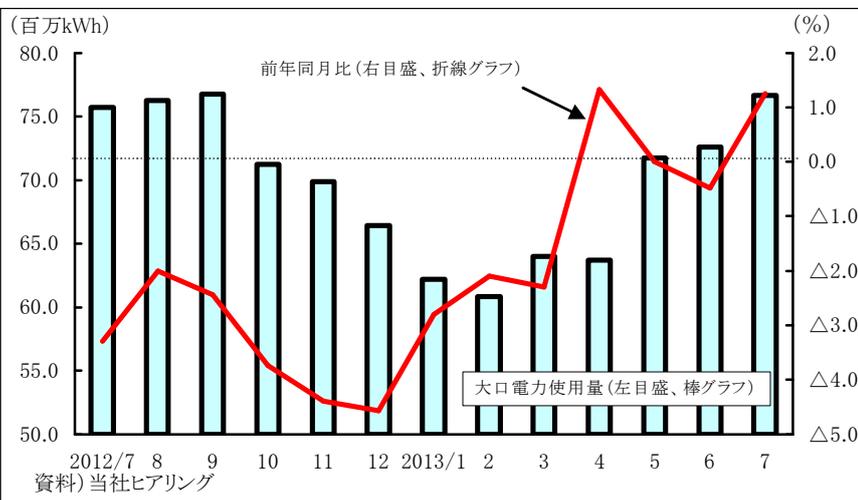
注2) 基準は「2005年=100(沖縄県)」、「2010年=100(全国)」となっている。

鉱工業生産指数(県内:6月)は、前月より7.9%下落し、99.9となりました。産業別にみると、「木材・木製品工業(同29.6%減)」や「鉱業(同17.6%減)」等の業種で前月を下回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を上回る。

単位: 百万kWh、%

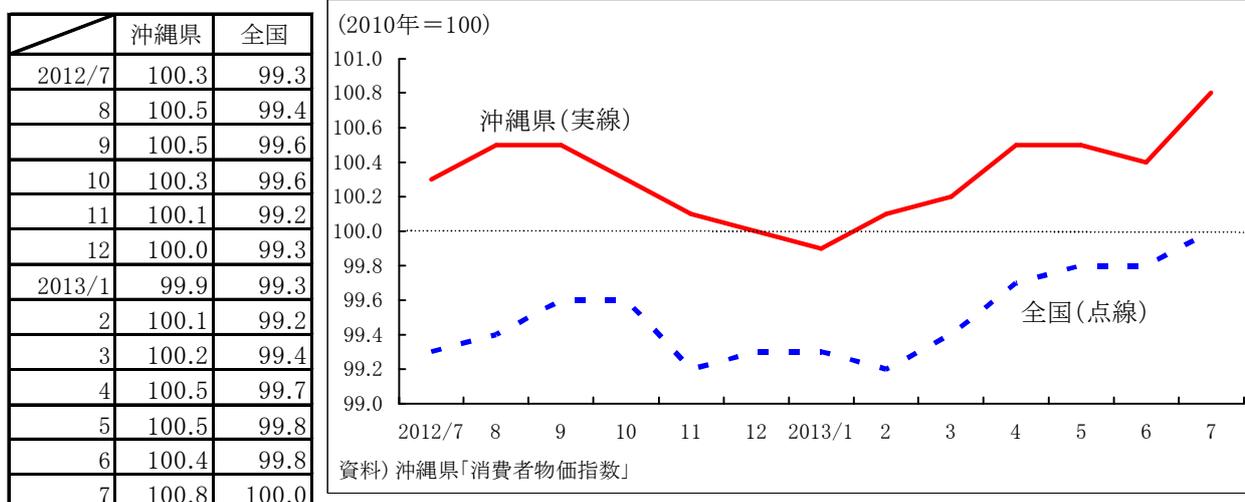
	大口電力 使用量	前年 同月比
2012/7	75.7	△3.3
8	76.3	△2.0
9	76.8	△2.4
10	71.3	△3.7
11	69.9	△4.4
12	66.4	△4.6
2013/1	62.2	△2.8
2	60.8	△2.1
3	64.0	△2.3
4	63.7	1.3
5	71.7	0.0
6	72.6	△0.5
7	76.6	1.3



7月の大口電力使用量は、「窯業土石製造業(同102.3%増)」が生産量の増加などで全体を押し上げ、全体で1.3%前年同月を上回りました。

■物価関連:  (ふつう)

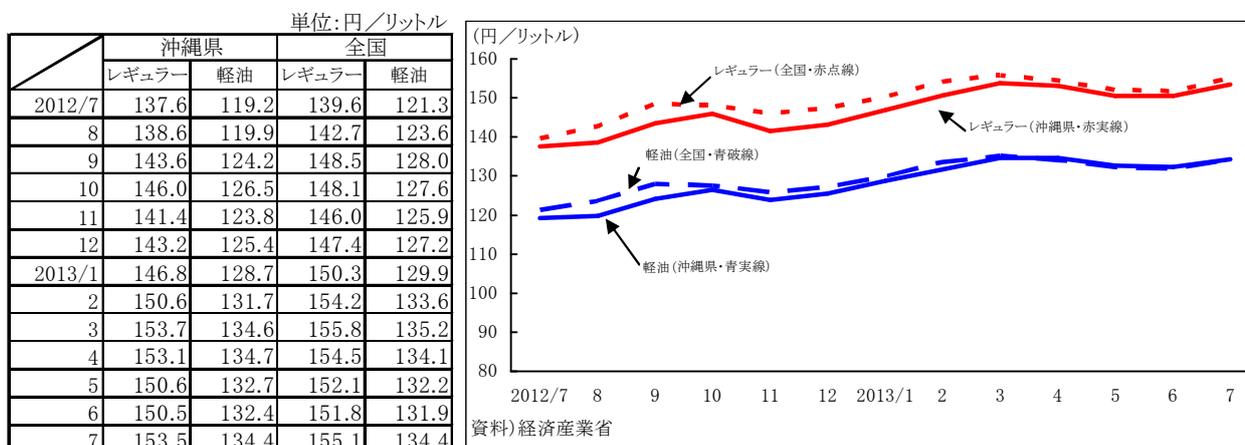
①消費者物価指数…前年同月を上回る。



注) 基準年変更(2005→2010)に伴い、当データも改訂を行っている。

7月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比0.5%上昇し、100.8となりました。内訳をみると、「教養娯楽(同2.0%減)」が下落したものの、自動車等関係費を含む「交通・通信(同3.0%増)」や電気代を含む「光熱・水道(同2.0%増)」や等が全体を押し上げました。

②ガソリン小売価格…前年同月を上回る。



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

7月のガソリン小売価格等において、県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より11.6%(消費税込価格)上昇し、軽油小売価格も前年同月より12.8%(消費税込価格)上昇しました。